散在せしめる方針で、唯軍事委員會のみは最後まで漢口に止まる、政府は既に奥地移轉を開始したと云はれるが、政府所在地を一ケ昕 **我粤漢、廣九兩線及び廣東空爆のため廣東、香港方面への**

的在住外人 是可能是 機能が閉ざされ

の避淫状況

来つたが、強くも我が反響に四十二神の見そ一萬を以て連

避難民でごつた返す

赤軍内部の動搖病める熊。

避難民でごつた返す

けふから本府で開催さる

遺漏なきを期せ(南麓

ことを得べし、今や日本帝國にはためて其の成果を取む。

他か に行刑教化は其の時

て暖暑間観を知り「この重大時緒」で砂田條事長に概為届を出した してあたが七日北京に入りはじめ、との理由で七日大戦より電報を以

列積3寅東方面に於て極めて活了一時發表===我が海軍航空隊

選出致 友命代議士 岩兀栗 次郎氏 【天津八日向盟】鹿兒島縣事二匪

岩元代議十脱黨

は既を月來友都各地景軍財間をな

政策に積を聞くを関しとしたい。

廣東を

公路として遺憾である。年に斯る 趣問題のため内紙を思すに天下の

に留り國家問題を助いす不急の趣

海の荒戯

側を管施したる處い本質度は現したつた

本年 1月11行刑果渔威西

する監督指導の適正を押すること れた全鮮十七ヶ所の保護職體に対

本府法が局では全鮮刑治所長食職

十八日から開鑑

保護觀察所長會議

近衛首相を中心

柳園ロ一帯を占領

開封逆襲の敵

『成しをり、純然たるアメリカの

事官は支那人をもつて大部分を 在したれるも同校の經費に苦る

9のとは云はれず民國十年には慶

から本府で開催さる

観を数す者書だ多し、正に此の他の一般民業に劣らざる者公の **岡朗に在るの身を以て克く時間來せり此の時選に奥し受刑者亦** 域は其の思想的段彦を是正し或え、或は国防献金の英雄に出で り、克く、「鮮一體の質を具現し公の赤融は毎に顕著なるものあや我半島民業の披瀝せる銃後率 顧る に今次事種勃發する これであるのにして行刑致化の角に於ても内証一體の質を具

学ならざるのみならず、此の非 関係財政に貢献する所決して夢 がで優良かる成類や事件、其の 環想、就楽率に於て新文収入に 環想、就楽率に於て新文収入に 北の越官を強し今茂更に一段のの完成を庶残する官間に出たるの完成を庶残する官間に出たるの完成を庶残する官間に出たる し我集園の猪神に基さて陶冶鍛品に行刑数化の基調を明かに、動品を率載することとせるが、 次に朝鮮に於ける刑務作 が時局下に於ける物的並入的資

た活動を作材り、七日夜より八日 を頭に買るを開発駆に大き、八日 を頭に買るを開発駆に大き、八日 で弾を定し、又八日子前等洗線 が発展です。この問者間、皮間、 機撃に対してご極めて壊裂とす。 機撃に対してご極めて壊裂とす。 を可した。 を 電力工を爆破し又回磨高角御陣には多大の指書を興へ、脅歩の指書を興へ、脅歩 二八金鐵鐵山滑車線條工場。電外網線及修理工場を採羅し、「開東夜間爆難部隊主天河東行 一、廣東市費開三回に亘る攻撃的 を埋没せいめたり言は庇藤郷に「総銀甕により断殺衛に恵り線路を生ぜしめ、又使めて大なる跡 VII.礼を破壊さり 地を必難し多数の命中間をも 工場にも実頂害を興へたり、硫酸力工場を運輸炎上にしめ、硫酸

使用してゐたと批定され智然のこし支那軍事質問が影照他物として 高、協場に明かに支那支配職下に かも保轄に際は南大自日便を駆し無罪中萬元を支持についあり、し としまれてから

職送、そのま♪奥地にに至り"香港辨事處はへの軍需輸送路が殆んへの軍需輸送路が殆んせ政部は昆明に移轉せず重幾、衡陽、長沙

の避猟状況の避猟状況

關係閣僚會 近衛首相を中心 外、蔵兩相と白

演「市民ご日本官の遊安を推社 大田東京 と 連続を開始してもるが、 一転市民が発孔先にと連載した。 の・直続しようにも列車の便位 が全然な一段を譲せます。 売かの方法手段を譲せます。 売かの方法手段を譲せます。 売かの方法手段を譲せます。 変しので非成装重要は事質上放 変しので非成装重要があることには 変しので非成装重要は事質上放 変しので非成装重要は事質上放 変しので非成装重要は事質上放 変しので非成装重要は事質上放 変しので非成装重要は事質上放 変しので非成装重要は事質上放 変しので非成装重要は事質上放 変しので非成装重要は事質上放 変した。 ました時間人はファンス相関には 変した。 ました時間人はファンス相関には 変した。 ました時間人はファンス相関には 変した。 ました時間人はファンス相関には 変した。 ました時間人はファンス相関には をしてもらう。

版の進行に連進する大方式を決定。ための國軍さ行に萬道機ださを動に関し関係制策分議を開き封支國。して大所高所より東洋平和権立の 改造を関連として支が、重塑監理」としての立場を離れ、履動大臣と【東京電話】近衛百邦は今間内職「字域、池田財職館とも非常着大臣 開して外交内政各方面に亘り重要 するもので、對友方館の批問壁に

果種領事リンテル氏は八日午後二|食曲州の三勝館駅路にて支那事材|係勝観登議は今後展践一回づつ開 **慶勝省はなかつたが、アメリカ陵 | 首相を申心に手域外相、他田蔵相** |を總令回院情勢ここれに到施する | かれ、被埴陸相、米内海相も臨時 一時半より首相で駆において近衛 し、その第一選手として、九日午後 田席し自由討議に加えることにな 一意見の開戦が行けれたが、この関

製・来つたが、脆くも我が反。 神・四十二神の見て一萬を以

動によりブラックを受けたる名何

自由部議を行つた、有自由部議は一外交方総並に既敦榮膺厳について

『病める熊』 赤軍内部の動搖 ボールマロン氏特電

はアメリカ資本をもつて建てらればこれを本省に修道したが同難物 い述べ抗猪」来つた、中村總領事 らず後難するは不當なり同建物はアメリカの物なるに拘暇中付登遼總統部に対して

早三十二名のアメリカ人、三名

7大學を設置してをり、その後も一部の動播は相當機動たるものがあ | 消息通ポールマロン氏のワシント 【ニューヨーク八日同盟昨年五月 | ると傳へられてゐるがニューヨー ーストン派)は八日の紙上に政撃! クジャーナールアメリカン紙(ハ

紫省政府より三十萬元を出して[25] 所を知らぬ勝正工作により赤軍内 トハチエフスキ事件以來成出でる 刑動所に於ても政有に関する

代行刑の公式化せる制度にして

生の事情を嫁査し施設の現場に を定義等の工夫計整を置らし、 がて本制度の語言達成に付格段 の考慮と努力とを致されたし 昭和十三年六月九日 は必然受刑者に對する觀察の周此の目的革行の完整を期するに確實ならしむるに在り、而して 件ふ人的及物的諸施設の充質を 其の目的は受刑者の自主的政治

朝鮮總書所

松戸高等園藝學校御見與 京畿道貯蓄委員會愈よ蹶起

金を貧民救濟費

二十七名生埋め、八名は爆傷死

/ーヨン火山

啖呵を切つて見たが

四年間の結晶



敷地を決定

北德里に約二萬坪を買收

鬼曹長』天晴れ陣地を死守





(短棋)が生命 機代理屋 古家作

昭和士三年六月八日二於テ葬儀可相替候 嗣子 金

あでさる

与打

The First Property of the Prop

行銀業勘本日・省蔵大人

于高品





白嶽の恐怖! 人自分の前に立つ

払 償

京城府南大門通一丁目(黃金町入口電停際)

ロ 本 個等問購入特約預金の御利用を願います

全國の郵便局・主文を銀行・其他 日本助展促納城公會は本支店 臨行本支店・出場所 臨行本支店

等。 战 初 园 法司法商运工等 国际工程 三十本三等 四百千本 三十本 三年本 八百本

日本勸業證券雖京城

電話本局四〇五四番·振替口座市城二九七番

四封十日间切日

者

剽

0

る丈輕く能率本位に 削 参背上

ムドレス賣出し 1 1

ベンベルグ 一國八十韻より白・ロード 一國五十鏡より **階洋品部**

一願三十録より

海水着陳列「三、階)

なる後の

在性季 珠珠珠

豊玉は人氣滿點

程郎い高井氏を選邦進行係に推し「てあるのべか、軽米を原物にする」し四日は穂戸の正米市場を訪問、連頭研究長の機能が済むと議邦日「菓子名事を供れ、何れも秘密にし」をして六時の列車で大阪に引き返加頭研究長の機能が済むと議邦日「菓子名事を供れ、何れも秘密にし」をして六時の列車で大阪に引き返 も穀良、錦跡は孔子三萬石位の見。何處に行つても好評を博してゐる。死を遂げた で鮮米を原料とする事は統領に統 込みであるが、これは簡進家の方、灰顔である。午後一時存見を終つ に付き二十五編乃至三十銭近く安 其他 京即でも一番批解の 多かつ くなるというのである。個伏見に 如の見本 た一行は退職ズスで名所が協遇り

知己将校の戰死を惜しみ 遙々内地弔問の旅

を祈願して七日朝韓釜した

家の関野作失恥さん方に宿角した。指者を感慨させ闘雄は明治神宮と 菜部灰小山太郎中尉と滞在中知台 ■府内大方町公設市掲来数商単語 告別式に萬職を機合行せて遊々鳌 ひにたり同氏の田配後も脚間品を 範さんは昨夏安那事題態発音時間。山から参列し遺族に帯跡を表し食 【並山】半島回胞銃後の赤腿・美蔵 | 王紫飯野町で就行された故中尉の 小娘の轢死

通利に路し続戦してこの穏地里等【【釜山】七日午前五時半頃大田菱】

由緒の老銀否火難 【浙州】既平、七

語の上で火遊びをしたくめと判明したが邑智局では貴重な老不の局根を絶つべく入日午前で 午前十分頃再び火を吹き火箱に軽素の間を突き抜いて天に神」消防紅丹び田難して間もなく桜树は、一般耐し止めたのにも拘らず何しろ周剛骨六尺もあるので過次の中の鉄縞が翌八日 、止め一時は人田多く大騒ぎを凝じた、原因は同銀者前穴を増とてる乞食連が持ち込ん 胴穴の乞食の火遊びから



釜山商議總選舉 すでに十名三分の一立候補 早くる白熱戦豫想

釜山! 朝鮮の商工都市釜山の庫 | 改選は七月二日の舞島期日を投ぐ | に至り眩暈の如く七日前籌理事者

設けるほか精線工場も段節であ 登で取り切つてある 夫二名重傷 山崩れでエ

一般は、更に各所に敵島和線工場

道内の適當の場所に程機工場

で荷工金融が蘇其の「て蘇(本格的の家庭教を展開)で「立候相者並に併内神(花香房を含版「下工事中の平北線道

なる――黻くべき安さ/ サイダー単打分の大量に でなると

五〇セン場一本を

総新規に質山松南九七八無殿像「契爾是が死死亡」にのを発覚し、「善変」。金銀を調じたが、その手模「金 飲事取調べ中日却「四八無職繋移坤(*ご)併外」二四墨名歌の未し入柳月間の長男、 帆を辿じ京城の加藤 芝に振竹布立 (物取して)のた邦 裏からコツソリ 【大理】田舎の金頭家を襲ひ他人 | 藍蔦(こ)府内部山町一入五無破郷。| 右一味の徐娄夷を安御県に化かし

入し今度に有料が前北し場鎮県に 現石四名は緑の知人の七項町、四

の十氏で定員情報の識別に対し早

げたがこの外会與立石良地、現職

海門、松尾巴之助、

くも三分一の立榜前者名乗りをあ

1、總の授七百二十八郎、百五十一たつととの、地宗に献を無い、元山二八十、總の授七百二十八郎、百五十一たつととの、地宗に献を無い、元十二十八郎、五十二十八郎、五十二十八郎、五十二十八郎、元十二十八郎、

一英四子八百七十二年のらち帰省

(福也)日然消が工場の用地買取」か方法がなくたり、目下

公買收の用地に

北平

碧草郡寺時面

炳

朝鮮みやけの御用は

経過

海市商會

州

愈よ収用令を申請

松山 粗雄氏 (羅物丽) 桝岡 植華 初しい孤順れとして海巡方面を背 米倉前三郎 梁柳映 四尾川祗、岩

この未買収の分は何れと

諸氏の登場を確定的とされ

一世 一致に をならべて

近二夫郷海守、金日殿の所名は出

秉 惠 德 基 恒 商

同

らずる山田勝氏(朝鮮代替針長) 高くは収載は存肥済とたつたが、

五十四周七十編を見すのりで他は

兄 弟

童

邑

商

する 大印燈袋器

○大馬時報の就職都介●馬中代息の大馬時報の就職都介●馬中代息

中男中になる 母乳のやうに

汆 水

製島 産婦 人

型 超 商 縣

民家の娘まで喰み

(45)の 四名で、右の中場、 徐、 陸方で装御壁の町章を元勲(*4)所外端西面院佐洞棋・南岸 | ご府内本町一丁目五五

ひ裁録品所有の摩南陝川郡伽西面 | 主保管融料版など即立して真

と科は個装の装舗品の世話人企装 陸方で装備壁の印章を修造し、芸 他人の土地で散々騙り廻り

み、二中は一を整へて院保得の お引く関係上目的を導し

職し引題さ入日正でもでに正式に一を店主が吸見。泥器だっと唱んだ一部町二四五〇無個和大

胴割なけは何處でも警戒 **尿阪路に聽く鮮米の評判**

川支局長続き 像定 現の方が配偶がなく、選節は直右 風味が配下するとの蘇見もあった。中華山起版七四キロの統切附近で「火陂にて武巌仁」ないてあるのみか、頼便より代車」と新酒の間はよいが古酒になって、第七夏他刻道が勝道部間所を得進 於ける酒米として購入する郵来即「京松道で鉄駅しつ」ある意志米は一線がれ間鏡は二つとなつて監視の 一般に対する明初れて、 面玉正里徐祚伊女。この機関ルに 削力を横断せんとした常門都上東

組の西本葉一氏が出場するに関す

の通りであるが、その後本版では

朝日

時計店

篙 新興

商會 傠 會

洁合

商

下書駆徵新續 から同意 家庭常備教爺 なっコロジ

爪製なる陸上交通方面では自然

昭氏の動向未定であるのと海上が 山場・機械であるが商工方面が

陸軍兵志願 慶南の入所生 子商 徐永応方の店 先の自轉車を 巨子设二時城府內七星町110二東 (時價廿三間位) 乗り逃げても男 大邱の自轉車泥

成、因辨酬顾孝、宋玉石、蔣山山孝 岩南、河東都 漢國、泰山山李 岩南、河東郷 漢國、泰山山孝 岩南、河東郷 漢國、泰山 [新山] 過數或後的心試驗心價施 八所了る前期生徒は左記二十名に 上上摩耶丁三年度志順具訓練所に

地西瓜の進軍

西鮮合同電氣機

碧竜

福洲進出に大拍車をかく

朝鮮ものは如何

化地である流流へ向つて、その要

込みに経費の完態限を扱つてゐる 本) 宁伊瓊(愛媛) 西瓜 日例年に

めてある、これが田筍は七月上旬

特が終げれる頃と「角名歌を博してけるらが、他所に「略を憂息」におこしが歌ます。う得不実」新辞に果「あらが、これに引張へ朝鮮物は折「五里の都上で蔵礼職をしてらる派 比べて何かにつけて常に立ち遅れ 配養院死したのではないかと見ど 成玉の外一名である 金用俊之,、同都自從面果介積 乗つてるた船らしく突風に迎つて

南浦の賭場嵐

査中の處七日夜碑石里遊覧的近去 の西浦正三郎("1.外数名を検索 工大村主計方で車座となり開展中 てゐるのを探知した南部署では世

… 【四里】 平北心学官の自集

咸北の亞麻試作

發芽後の成績よく

鐘紡でも張り切る

ない「ナフタリン」といふニッ 生徒のおヒーさん達があられ 和市郎さんの理里高女校長時代 クネームを奉つた、虫が好か

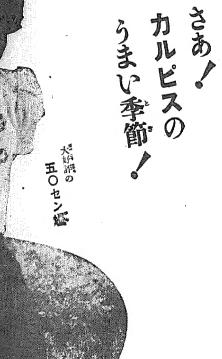
ソ』と命名、胜して「ナフタリが非任すると、又もや「ホドエ 自井さん去つて紀田辺辺

生儿要永輕(元) 超越面果時間假愛

題に、機は頭に何れる重

ソよりもつと旦が好かん腐虫症 ところで今世の『中野教師

行方知れず



爽凉· 整腸 滋强飲料

★胃・腸・を 整:へ ★榮養:つける

一元山田帆 代理店 朝鮮運輸支圧 一六月廿七日 四湖湖田帆、代明岩、富田、南南

存港地 活田、船川、脊蜒、

创 學和斯諾音子

案內所 意明三十九 安果大和阿

梅羅斯 別八円 特六四半條縣 別八円 特四円

創製鑑松藤田高

クッラド田省

品前・ 部山崎共町

街入中以學別道品 京建黄金町六丁目(訓練院園)學ペントスル者へ他ノ沿促ヲ酔すま本投へ率レ韓重義拾款合

京城第一自動車學校

巨大阪商船听出机

m 社會式綠造釀日朝

仁

内鮮運輸业出

病

[八]鈴木塩太郎の勘を廃しくし

るれさ化畵映

春香傳、座談會

新聞の「春香郷」がこの丁月頃京 さい朝鮮風にやりました。これ

つし、あの中には季賞の宮中祭け

油に比し十倍乃至百倍のピタミンス・D を含有する特許 の上に立つ祭養剤を撰定すべきである。 翌むならば、斯の如き學理に基色、研究り、異に活動力を旺盛にし、體質を攝化 で、ビタミンB2を配合して居るのは、 微秀となる非も發見された。 多くの

るから共同栄養効果が大きく、作用が片寄らない。 腹合ピクミンB・燐・カルシウム・鎌・キナ等の綜合

嘔吐下痢等の胃腸障害が無い。 同様に完全緻密に乳化してあるから、消化吸収が良く、

人の氣も知

の提出「進行機の事業」と五本立

●復川延三郎(田郷のお園、侍女 | 山武蔵 (名吉屋山)||北。 佰樂太

新。 利用兵

政宝の窓から価値なの類を出し

魂を失へる男=

方も技巧も自ら選特のもの

い(意画は逆田連維氏の『好日』)

効くのは、その中に含まれて居るビタ 肝油が體力の强化、結核の豫防等に

る。だから、肝油を用ふる場合には、種々の實驗で明確に立證されて居 際単位を誇張して強表して居るものも 効力が十分でない。然しビタミン含量 ビタミンの含量の多いものを揺ばねば の多い少ないは簡單に解らぬため、國

ミンAとDとの作用によるのである事

ミツワ肝油ドロツプスのビタミン單位 斯界の第一人者たる河合樂學博士發明 等を集めて嚴正な比較試験を行へば、 あるから機擇に迷はせられるが、それ が断然最高位である事が確證される。

改善せねばならぬ 油の脂肪は

4の進歩によつて、肝油の脂肪は却つて肝油の脂肪は発養質が多いと云はれた 少ない事が判明し

の寄作用の爲に脂肪の榮養價値を妨け 脂肪には有害な高度不飽和酸を含

肝油ドロツブスだけであるが、國家非常 を配合すればその害作用が消滅し、奈袞 居る事が解った。しかし、 肝油にピタミ

肝油ドロツブス一顆のピタミンA・D含量は、普通熱用 五瓦以上に相當。

6一顆、大人は二顆、一日一回―三回服用)

東京・阿薩の影響のます。東京・阿薩の影響のでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、 〇ミッワ石鹼本舗 丸見屋商店·薬品部

郵等五種均入申込次席送呈します。 を歌説明書及びミッワ肝油ドロップス見本品、新晴名を記し



院随意一腳麵輛龜

簡 衣か

花飲合・菊山・楠野・蘭・楠・葡 開治の森・森の夢・建設

聞いら・位に・個型中

版は響成してあるから油節はなら

設據だと思い

村恒 伯鶴 美 演

わかれく

養鷄及家畜飼料(顯於

澤浦精米所飼料部



清爽の感觸に生き

¥ 10.00

/III/EIDO



の士詩征出

に問想・に別陸

MARGREN MARGREN MARGREN MARGREN M.

では濟まさ こして恥ぢ だ は知らな + ンツ 進步 3 ル が 用 Ø 產



店商村野社會式株 舖本 加吾館金

数叩談上―りょ日弁月六 スーユニ でいなら知も氣の人般大 趣味浦短色彩極 M・C・Ni り 祭 學 大・ケーワ

5,01 5,05 1,15 9 祭 學 大 -ナーワ

7,29 3,33 11,43

J.30 4,34 12,44

Canada



學の日醒

配 配 5.50 1.10 7.05 2.25 7-15 2-35 8-35 1-55 11-30 西西南部

一〇三五番)

八院隨意)

ピュールリンヤーの カ 飛 行 解 カ 飛 行

館花浪



乘

明月

1 1

. 为上日八月 ... 的书の早渡, 捨 71 在像格河 if --高空場別湖京高三001

工型度白納區

には金太の正米的を撃むには一般には一般には一般には一般には一般になった。東京れてないには一般には一般に対する特米的の繋がも

机

上の宗警

帳

超多缀式

などり仕方ない駅間にあるとり仕方ない駅間にあるとり仕方ない駅間にあると見られてある

店商配治政島中

二十一四次回译中自奇物

日本のようでは、 日本のようなが、 日本のよりなが、 日本のなが、 日本のな

「果」 毎年六月に近入
 「果」 毎年六月に近入
 「駅」 毎年六月に近入
 「駅」 毎年六月に近入
 「京本中は一向減
 「京本中は一向減
 「京本中は一向減
 「京本中は一つ。
 「京本中に大
 「京本中に大
 「京本中に大
 「京本中に大
 「京本中に大
 「京本中に大
 」
 「京本中に大
 「京本中に大
 」
 「京本・
 」
 「京本・
 」
 「京本・
 「京本・
 「京本・
 」
 「京本・
 「京本・
 「京本・
 」
 「京本・
 「京本・
 「京本・
 」
 「京本・
 「京本・
 」
 「京本・
 「京本・
 」
 「京本・
 「京本・
 「京本・
 」
 「京本・
 「京本・
 「京本・
 「京本・
 」
 「京本・
 「京本・
 「京本・
 「京本・
 「京本・
 「京本・
 」
 「京本・
 「京本・
 「京本・
 「京本・
 「京本・
 「京本・
 「京本・
 」
 「京本・
 」
 「京本・
 「京本・

《源 宋源作曹

本村(赤松(尺/) 10 ・ 本村(赤松(尺/) 10 ・ 大耳前安泉線(1枚) ・ 大耳前安泉線(1枚) ΘĄ.

HH.

般商品市况

전**리** 신시시 00

先展入仙一 大、四八 大、四八 大、四八

一月七七月

^不 日 卸 賣 物 價

和平の空氣濃化

民政府内部に

津浦線全線開通す

避み、この際安協を聞るを賢明なりとする空氣が動きつつあり在支外人筋もこ無益なりとし、また隴海線及び厦門の喪失、廣東の空襲により漸次士氣沮喪しであつた支那側有力者特に財政家、銀行家、教育家の間には、最近これ以上の

された徐州より諸口に至る地部[上海九日何恩] 完満なのでで破

津浦線開通

日九日の紙上にアーベント上海特別員の特定を掲げ、安那側の内部に動きつつある和 これ以上抗戦を無益とし 起し今や最後の日の到來を記す

治事、汽船、飛行機などは複到 读けより西東び南の阿方面に向 を難民を收拾し切れずる程の

を身政に放照して多少 あらうとも、寒ろ領域的 めんとの進歩的態度の現 のんとの進歩のまである。

られるものと解析され

大韓長は我国政治の原

が風とも言ふべき國民に對す

教員大會に臨

刀強い訓 **南總督忠北視察**

不

篇妹姉史本日語物

(第二日)

廣東全く死の街

短留せる 各機關に對 合即合下端

製薬が繋げる撃、三時建の憲「市中は11大客と得する人口を提供」てて防空感験戦の中に包まれ首領でおい、七日午前人時半の機響(電け地質上不可能となってある)、現はれる字を市はちの後い者を立ておれ

ハロも八萬に激滅す

るが、七日午前八時半の爆撃|電け東質上不可能となってある。

費ともに地方政権に轉落することになつた を進めてゐた國民政府が愈よ最後の實行に移つたものである、これにより國民政府各機關は數ケ所に分散され名川省重慶、雲南省昆明に夫々移轉すべき旨命令を發した、滅口の趣り難き場合に備へて豫ねてより奥地遁入計畫

採口に止まって形勢観望中の國府要人は全部合せて十名に過ぎず、九日迄に大部分は背景として襲地に逃亡してしまつた 根別は最初の豫定地長沙を飛び越えて同湖南省南部の修繕に退却するものと見られる、これに伴び湖南省南部地方は今後重星東部中 に住外関係国の希思を挙れたものとして巡目される。軍事委員會の参曝光について護漢なる階級によれば軍の大人の自用東巡衛と同時に移帰港の立法司法等誤監察の各院と合偶することへなった而して変通外交商(上海大日向翌) 関氏安治性特に関しその後の米電によれば、結構、観賞・内政の三部は既に重要に移り「上海大日向翌)関氏安治は特に関しての後の米電によれば、結構、観賞・内政の三部は既に重要に移り

開封九日何盟】開封一番の影響

|要果に開対作作外人は絶歴に飲食

米人(上海)所有の

満洲の發展につれ

重要性を増

東京 1 2 3 2 3 2 4

入谷拓相北鮮を視察

た領するやってあるので心臓いた。 が相手の体表に線を進り地形は 対が一番心配した治少平特氏も 分が一番心配した治少平特氏も

全十二

珊

豫約募集

開封放棄に先立ち

黄河堤防を決潰

時外相から最近の一般外交無過を配った。 大・新見の交換を行って後、宇宙と、宇宙の表換を行って後、宇宙・大・新見の交換を行って後、宇宙・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・

千俊本時五分飲食

斯政府側より近南官相、学域外相、 に開かれ町田登議はじめ各条諸田

ル時十分より首相官邸

大服器就定例想获管

時過ぎ温泉里水安保協館に入つた を止め豫定外の職類をなしつく共後三時にくを出録途中到の處で車

多議會

武漢、三鎭は生地獄宛ら 外國居留民

て決議せ」め開新一帯を水がし、開新北方の変河堤防約二里に互 の週江大野並にその他アメリカ人が攻撃的が設を構築してゐた上海

著名では九日左の如き情報即長歳

老練兵殆ど死傷

知らせる

第1を見せたがつて仕方がない 関作を見せたがつて仕方がない

鹿れ 為能選手 2

魏を全國民に 政府三猿主義を勇敢に放擲 如何に重大なものであるかを國民一乗切に遙遊することになった。し一

即ち、政府は悪魔生以来

「紫の色のみ高く寒に七日の壁撃は「登方に対して衝撃中止を求めては足ら出ない。展東軍事官局は、只然「無に廣東死守を穩望とする者多く

家に歩すに至つた、然し部門の空もその居を沙面に近接せる大地下

スクッチ夫人

廣東に和平論擡

外四路東極可令部の大地下隊附近一如何とする和手輪さへ田で、漢ロ

【上海九日间監】九日朝上海震枕

窮民を救援

没落の

路をたどる

参議會後池田藏相語る

と進つて心臓が凝い

取姉 揃妹 有篇

ンボケでねー』と作

第一**副** 東海道篇 文 新 第 自上代 (法代表) 题 **豫約募集第二囘配本濟 鰡釋記**

東海域園

止しく認識させたい

那婦人の影像が全部ピンボケ、もお魔に寫つてゐるが、若い支が、萬海山の山や北海公園の水

をレンズに収めて来た 北支に出張して北京の

録

が、人物ことに御婦人のが『北村さん、あん

議會制度官制 東京監算、議会を以て要表、何日本 では、政策を 「東京電野、議会を 「東京電野、議会を 「東京電野、議会を 「東京電野、議会を 「東京電野、議会を 「東京電野、議会を 「東京電野、大学の 「東京、大学の 「東京、 経典由入坂、九日飛行機 いのため九日來社 いのため九日來社 のため九日來社 財氏 (韓軍中将) 九日 「あか粉 (韓僧) 九日 「あかり (韓国の間代議士 (対域・朝鮮ホテル 歴れ、テニスで御 事務官は野球で御 官 々愈集募約豫大 進





八名比略)

質が融合される







































時の浪費の危険

國民の覺醒を促す

、權役落の指標

虚勢を張る抗日態度

元年 全土金・毎日本市の財 一切中級次原本代消星します。 毎日本行政に関系のは 一切中級次原本代消星します。 毎日本行政に関系のは 一人 一人

| 報動 機用 材料 | 高阳 四四 | 「小 取毀 動 機 | 小林正| 四 | 原工所毀 動 機 | 小林正| 四 | 原出所致 動機 | 田島遠之朝 | 田島遠之朝

健式庭球決勝戰

事講習を行る

|軍から松井、柳川の兩將軍



五月水産檢查成績

全十卷。內容科目

豫約へ切後は各帯区土へ値上げ無信暴騰に付る時に付いる

慰き平静 後市

2周山、總裁の椅子を建つ

重要作物の分布狀態

般討議を行ふ

友總裁問題を繞る

重工業界待望。定本的講座

(銀可(銀銀引-)農耕可)|吉田 次即(銀質の製資(電延注)) 盟月 優勝 佐西村館 (銀貨の製資(電延注)) 盟月 優勝 佐西村 (金額の銀値及所教育金村上載次即

|金融材料の印弧的技佐々木新太郎||一位||銅工環(既姓氏)|| 宮島 利七||一て 具 対 料 武田 惟三||一で 具 対 計 武田 惟三||一で 具 対 武田 惟三||一で 表 できない ままま できまい ままま できまい ままま しょうしゅう

は金巻即時間本いたします 全巻完結資につき一時排

大い 金 年 6 時間 | 一夜和田本 | 日本 東 三 東 三 大 三 日本 1 日 | 日本 1 日 日本 1 日本 1 日 日本 1 日

明にならぬ内は今月入めま

全八卷內容科目

5 卷 ♀回至去

往復變歳の(知典)

6 卷 六回配去

地掛 (電) 数 (1 回) (1 元 大) (1 回) (1 元 大) (1 回) (1 元 大) (1 回) (1 元) (1 而) (1 元) (1 而) (1 元) (1 而) (1 而 全緒即時配本いたします。全緒完結論に付き一時拂は

第曾口座東京四大の4四番 會社 1/1 東京市時日度経河台三丁自九 合資 1/1 東京市時日度経河台三丁自九

を以て存たれてゐたが。よる五日東越遷信事業登録に於て山溪三遠。坪川美士、河野佐市 上の全年鉄衛官はコンタールの観を呈しての入選並に入賞の發表は廣く一般から郷酔の眼 で本面内全朝鮮高田聯盟が関づた『歴音高成』で変

雄谷佐市

『春のめぐみ』

水原人· E常館町

『田家春色』篠原勝列

谷和

「春田離」

入賞者

宣規・電話研究会所本祭◆ 『仲メラ会山村晃◆【牡丹と信義宮】「春の朝』 阿人◆「明』 東ヨカ 明本『帰』同人へ『春光を浴び『香爐』東姚寛道研究育西語伎よし』安排探光寺大思治史耶本

本原人・国際友同好介護谷佐田▲「春の海岸」同人▲「魏子蔣三」

行長を認識して財本有効に使 強かるのであると 然しこれも つの感激であつて、これに

「森神隆 東接笠成研究育高平蔵 に接し、京都用の朱龍藤井氏に「京神隆 東接笠成研究育高平蔵 に接し、京都用中の朱龍藤井氏に「京神」 「八人」 東連邦・大いくつもりです。 「保道」 京状名は研究育学由詩 たいくつもりです。 「保道」 京状名は研究育学由詩 たいくつもりです。 「保道」 京状名は研究育学由詩 たいくつもりです。 岡内田奥平▲「同」 阿人▲「若らか」 阿抜井洋 1 ▲ 「森螭漫」 ったれ作句に意味ある低して

加賀に其の内容を物語で通り何節 てもらった感いものでする作品がかねて良く難む着人に無限を聞い

の郭に恐怖してるる文章です の苦心も努力も変れて居らず入選

自信はあった

ものでした。仕上げて見て何か物 の春を感じ、暖り少なのフキルム 行けた題材でしたがそのノンピ

玄 一 榮氏談

いけないと或目形態事機の上で非 にもせめて出品だけは、たければ けば自信がありました。忙しい中です。自分はたて入選することが

審査雜處 澤三進

度の藝術品を作る目的と

てるたが絶さった作品を見る苦しめられたかのやうに聞い 足上一部等極性値を有する要點與こつた。時節構製品の不 であつたので仕上げた非常に 品が開けり、これが取扱不明 面:個日期回川十四 (\$50)

は処理論的に述べて或け掛け

影作家に對上多大の同僚を

た。先づ歌壺に先立ち、

任である。この意味に対て る個があらうの質に部屋で

てゐて而も後向きのものが多 れることは影響を使て作らし越い。 特に芸に売へさせら れたものは隠して飲みが飲け 方框ひところがよくても終り **探巧の強いものは如何とも** 見様でも聞いとした。 た。これらは仕上げが如何

とかのそうたものも相似見受 中一に一は記せるた

原氏と共に高位入墨の報一田さわば相称まの様に思れた。こ 最高峰をゆ **全鮮庭球選手權大會** 愈十二日、待望の中央豫選 ての誇動と亘つは御旺に針し何か 事に何も有りません。 只食員とし 一何光器官の貸め同氏の前途に甘 の情報文けは盛り得たつもりで、 足られものを感じましたが、當時 帯光に封しては別に慇想がましい 絢爛たる出場選手の顔觸れ しろなく歴死の歌を表してゐる次 軽いものです 脳島柳也氏談 ら出かけまして題が難だけに朝鮮が落さんのです。或日曜日正午か のサコンには強盛ります さした。のんびりとした銀持を私 人の来るのを待つて居るのに苦労 難つたばかりで出品したければ気 朋は駆動はありません、軍隊から としては出して居るつもりです秋 よりも人物を見て朝鮮の春を表現 引伸しに苦心 追原正雄氏談 信恐惧恐信恐 初東 樂府 廳府 会問 元美 召洪 中村 李原 至有 文学 子说 大亞 阿尔 本语 基语



御経百三十節歌が一般問題、必を滞め、日を非論せる「一大」三人間、自我(熊紫) 遺抄

小説青春を賭けて養団

の盤汚縁 一枚関を挙げ

十加一納

の現代に の端が のが説が ・脳の血しぶき、

日城川以

皇軍将への

說符名紅梅川 郷日本の妻鯔

説愛情の書意

靉斑鳩平次端

識**魔壯佛身**蓋

『都の春を訪

京城アマチニア

選 (100%) 道原正雄

特選)…澁谷佐市氏談

た題材だとは思ひざしたが朝鮮の

ん、又先覧内谷さんと席を同じる たかと思ふと嬉しくてたすりなせ 通知に使いましてつまらんながら ら私の努力が選者の方とに抱され

メラの位置で 氣分を强調しました

つたのですが只今此の栄養ある四

選の喜

題を眺めた時行大して氣分も表現

大先院職并さんに迫知して共に事 力ながらその責任の一端を果した した事は木御光盛研究會の爲に後

當時の情緒は

なりました。初め目の高さより主

えれて居るとは思ひさせんでし

級近くまで下げ大空に主題を押き 等ひにもそれが入還しま! しましたのでもからないをらもこ

內谷和靖氏談

掛けたがら寸度を利用して扱う りであります、感想に云ふ機の ともありませんが進だ整理場件、乗た無機れで各所展送手とも必勝の事では五の四十二種の歌 央議選大館は配々十二日平前八時 から京城運動場コートで銀行する を期してボーム・コートで要素を 胖弟十五回全群宗武遣手權大全中

を扱けてゐる、新人勝つか、老巧 東(松野文東(金墨王

一高(中) 明 向(全) 明 向(e) 明 而(e) 明 向(e) 明 而(e) 明 向(e) 明 向

|三六月廿一日| 三越ギャラリー

、選印畵展覽會

盟

『春のめぐみ』…(特選)…

· 原宫員同好會选谷佐市氏作

の、海内の作用、影明療出の大活配は、湯入の地圏と

期戦を乗切るかい

の三階の一緒には日本人の王

京城齒事助敎授

成

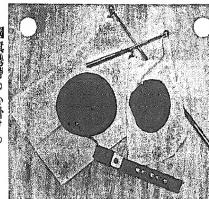
矯正

00000

・やっになつたのけ、西脂削数

◆矯正をする時期

ごい勢ひで誰がつたアメリ



國旗携帶の心掛けお…

・・この精神運動に呼應・ ば時艱克服出來る・・・

觀戰記

一人 医复数型

宿望の角成り

いつ起席で、便利で、助作に適し

が家

と仲良く従てべつてゐるワン君



「間」 小生時を顔面のスジがひ

ベンの走り心地、スラーへと早く 奬しく替ける 一萬 年 錐ー

製料商店



The Mark

B

がやかなクリーム

**・『・戦時体制

割する優れた治療網として他の信

ダモラはまた、腹臭わきが)に

顔をあつめてゐます

の心即なくお召喚を持しません

ところへが受りを創つて置くと計

まわり、前の生際など作の出易い外出の時、触の下、着の下、動の

叮萨通复席印象大 腐腐物具長田蔵 盖 元 覺 頭 市本市本東國商司共同國本 共命 超過代表图



献













一枚8付 二圆九十錢







陣容四隣を壓す

全鮮庭球咸南豫選の興味は

元山】本社主催第十五回全館版。る光山の精鋭は早くも大倉器加諾 【象部の哺羽、あるひは態度無比

強豪元山軍の實力

ームから注目の的となり、打倒 を知られる改員園の金器英、さら

南お上び江風南地方の各物「壁」たる質談を見せてある。 東鮮 その他多士尚々で堂々四縁を肥す

の元山草は 歌前既に 長藤橋補の | の死命を制するボブラの鈴木など 先山の壁は各地に起つて調査施り に猛烈果敢なスマッシュに一様能

「春川」が以間では郡下北山面在古 清平寺極樂殿 今月中にも お化粧成る

農工事は期間に強歩し国歌として「名景型することになつてゐる 支所、別群酋子会配降からも五十

木炭ならご座れ

カケ年計級で六百萬貨生産(目席 | 十四萬七丁八百十六貫、五十四萬 江原道當局張切る 一六十九四に遠しこれを前年の四百 八千九百七十五回に桜べると、著 しき中地である。なは境が局では

化粧は本月中に破成のはずで所替 面目を保持するに相随けしいお 「新に常別が撃をからして時間駆行につき一般の進草を喚起している。 に対しての総配上の優等する。とは今世であられたなの。 味の恋な で別人の総配上の優等する。とは今世の自を悪せざると でが生活改善上の経過が異であることは今世の自を悪せざると に関いている。

けふは時の記念日

時局柄特に考へようでないか

江原產業技

世近時食品屋では内側架技術員 **衡員會議**

和料を割いて

心のため八日正午島教院まで落地

の忠北过路自動化で集者、先づ

州總北等新楼、道殿に入り数食一四十分から司数官僚で市内官公署

カトリック教育では九日午前九時

韓国強列して真軍将士の武選政久

【潜州】 原原学術部を高いて初巡

鹽原學務局長

忠北道內巡視

されてあただけに韓田を推しまれ

戦後における非常時経時及び時局 並所能出産、第六次水稽模及類子 小変の出版、肥料の機能、別 て助分の財田ななし前趾の栽散体 忠北道下の官公吏

今來月二回に醵出

及ご治州郡内各小県校長部に一場兵・ついで郷堂で市内各県校職員

場で中等を使生使の分列式を関

目的の下に七川基督教聯合官を動「て滑州箱に一泊、築九日午前八時

6の那院落場順審員食糧機につき 高人から朝田した一人常規信等【諸州】那省局では八月年和五時一颗の約三倍に根常し精人は約十

目標の達成を督勵

開催者貸合の上継々打合せたが此

は四回土地部となり、その期間

來年三月まで向ふすヶ月間で

百分の二、対任官及び同称過者はあい自然過者は 百分の1、五、月給三十圓以上の史 ことしたりかっ 七月の11回に耳り

【永春祖】 青紫寺院主他の本種城。向ひ一泊、十日日出州市内名県校、現金県

咸南奥地の豚コレラ

戦死勇士慰靈祭

持並に軍事後後軍弟助政に努力る | 調整で競技式を累行した

基教聯合會

【七川】時内の基質数各数貸では 今回自者の機能を関り相協力し母を呈してみるが設生場的に言数十十十二十十十十七回発生し、目下小路 仁川にも結成

下火となる

〜 樂觀を許されず

國皇民として陳祖保國の謎を致う「頭に及び、たに樂観と許さす、 豊山に州火した豚コレラはその後 仁對

【裁判】軍山軍下を中心として一郎一生質局では内地に建文中の建財設。 が到形したので九日から甲山・豊 一萬頭に豫防注射

山三水子郷下開係地方の豚に英頭 一種防衛財を行ってある

住、計台風、腹節、抑悶九・ 孫觀時、計像植、科根稱、徐渠

少和師、前珍· 柳花

志願

那内の中職長四名は前川信息 [中刊] 進二院院成職に全部



商品全般 時情貴金屬

(特價奉仕品ヲ除ク) 宣割引以上

時の記念日

賣出期間中

修理半額率仕

京城出張所



十日ヨリ六月十二日マデ

設置廿周年記念割引大賣出 和市片

森郷権氏四女職代さん。ナシテー附近で山手迎三丁目二宮職支信 り坊道を自韓車で挨走中仁川 暦七年郎に怨節を負はせた、ねといる間に西突、刺ねとばし、 仁川八旦後一時間時以下

を整く与大格我である

合組工商

6月10日 時の記念日 時計の御用は 了時修 是計 部部

[春川] 本府の至半为産計事に順]止、脊牛多産品動質の路施設を試 | 原穏牡牛飼養者にお月:関の手管 | 秘笈を騒らしてるる 畜産王國を目指して 主に於て全く時間動行の質例がないとは言はないが異党等多くの場合始ん の増殖に馬力 ムー方音牛の改良財産の根源であ 関種 化牛飼養者には 生産権があ を描いなに配給ってき稿仕牛の生 | 給する定めであり又生産権に更に 關谷道營積牛生産區を中心さして 江原道の畜産陣湿化成る

今年は五百四十萬貫生産

四十萬七千四百十台黑炭(隆炭) 丁] 華度に於ける實施に自衆四百とし木炭の特産を置りついまっか

/種子の更新

早刈りを勵行し乾燥に注意

近っている場場事件は世間の出

【平選】 平田道における関派観報

限ひ失敗するや唐直つて現金

所西公郎で某夫人の祈祷品

白羊姫お輿入れ

ニュージーランドから四百頭

平南の緬羊陣强化

州法院支鑑法派で李越野技術で担にいよく、十月子前八時から

鮮米宣傳隊の結論

莊

振威郡に

X孫試驗1受贖者六十一名中八日

| 春川 | 今条行けれた理処議者の

高八子正古阗で府内帰田組の手に この観察工したので十月年前十

【七川】 府では昨年七月来上

大和小學校 新築落成式

試驗合格者

江原道理髮

頭食計=干八百九十八頭でこの外

で合の時刻は必ず助行す

螟虫發生

けふは時の記念日

大戦戦車が競生したので邪災済で

れが機能を増するため七日か

【平導】 提成部は各面苗代に稻の

退拾に大量

左の通り合門市の開始された 対合後、東重東、相四日 成果 鉄、東朝、金和昭、東長領、 東長領、東京、金和昭、東長領、 東京、東京等、東京市、自由国、 東京、東京等、東京市、自由国、 東京、東京等、東京市、自由国、 東京、東京市、東京市、自由国、 東京、東京市、東京市、自由国、 東京市、東京市、東京市、 東京市、東京市、 東京市、 東京市、

となってゐるが近く本年度第四回

平七時十時(三十秋前後)の時期と 【緑川】けふ(十月)は時の駆念 分削武器長久の鉄線をなすこと。 適宜の場所に於て基階巡邦、1 年 念日に左の思り行事をなすはず

築は高く二萬萬千 則を投じ本年度

齊に時の觀念强調

時から各面の状況を視察した

春川邑事務所

仲裁から人殺し

中ンネマと 滑削

変館 【七川】 八日から言

校長に他田豊一氏が任命さ

御用は

趟

時計員金属の

煙管で頭を打たれ

支那人脆くも死ぬ

他かないので状とははもつてるた明

新築地を視察

と石油を支付し、捕虫を薬剤

川地談の前提であるところから現

内に質視の鷺定であるが特來大将 松上南東県作品を立ているとは、一村でなってのではの主人である文宗人の別は、打つなってのでは文山の原理をし、二回、松上南東県作品をしているというには、一村の大田の原理をし、二回、松上南東県作品では、1 【下稿】長津江水塩第二塩地工事一級れる指文山を見て制止したが贈

令癭奇禍森支店長の

五年勤績

換範醫官榮轉

水稻挿秧だけは滿點だが は悲喜変々

畑作は雨で大祟り

節技、工場一般所以多数会列して

削製剤がとなり関素質に十万五年

府竹本忠夫氏は水原劉に燃修向氏

け火正十二年巡査組命と共に永登 【水化油】水水油等量价贴在历首

郵機し同塔の型数とされて内外の

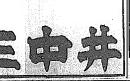
金銀美術品と

高級時計の御用命は

新型 ·提 時 針 ダイヤモンド・實石各種・指環 障列









は發見出來るのです。 **発養物を攝らなくても、**

能 の更

これらの病気は、胃腸を造つてゐる細胞の衰弱 狀となって現れるのですからこの病因を放つて 他裁といふ病因が根本に潜んでゐて、種々の症 胃臓カタル・胃潰瘍・胃酸過多 張·胃 弱·常習便秘

置いて消化剤や整腸剤許り用ゐるのは、徒らに

金を費つて病氣を長びかせる様なものです。 病かる慢性胃腸病を腸逐することが出来ます。 者の負擔は似く、非常時日本の各家庭に必備して國民 **清揚には、病機細胞を再建し健全な粘膜を造る活像な** 胃臓の若返り作用であります。特に難治と云はれる胃・ 消化吸收、便通等の作用を活激にする、一口にいへは の組織細胞に活力を與へ、胃腸壁の衰弱弛緩を引緊の 治療作用があります。而も樂價は一日僅か敷錢で、惠 賦活作用で、この病因を除く働きをします。腓ち胃腺 郷わからとは、今までの胃腸薬に見られの細胞原形質

儘な療養が決して良結果を見るのではなく、即 て引緊つた嚴肅な氣分で療養する人が好結果を いと考へるのは大きな誤です。金に飽かせた氣

獲るのです。

年らでも治士事が出來ます。現に英國の王立療 養所では、上運びや建築等の勞動を患者に課し 心を去り、心身兩方面の浪費を嚴成すれば働き てゐる程です。九尺二間の裏長屋でも、高價を 結核は初期に發見し、無用の恐怖 有効適切な療養の方法 母解『変とともかわる かふ違 Ì どは 勝内殺菌浄化作用を以て、常智便秘を解消し、自家中島 抗力強化等機況な効果あるピタミンB複合體の含有量に 四、無わかもとは、他の如何なる整路間、及ばぬ強力な 於て、麥酒館母剛に敷借する濃度を有つてをります。 三、脚わからとは、赤血珠色素、白血球を増加して黄血 核菌に對し帰固な防量を形造る衝特の作用を襲揮します。 一、たわからとは、酸育促進、脚気防止、胃腑保護、抵 を恢復し、體力を増毀します。 二、賑わかもとは、屋内に殺菌、溶菌素を増加して、結

配に坐ってれ

團五一枚多數 子供みたいに座蒲 マア貴郎ったら

は病気も近

時計とは置

*

いてもようい

E

ずほら

い子供が强くなる

三割以上が、結核素質の虚弱兒であるといる事 缺陷等が段々に弱い體質を造り上げるのです。 る間また乳幼兒時代から、 は正に戦慄に價します。これは母親の胎内に在 明日の日本を背負つて立つべき全國小學児童の 榮養の不當、哺育の

れば體質が强靭となり、血色が高くなつて、 與へれば消化不良や乳兒脾氣が防がれ、兒童に服ませ 年以來是是小見保健所が、わかるとにより乳幼兒の健 る許りてなく、胎兒の健康な砂膏が約束され、乳兒に た。即ち帰わかもとは、母親が服めば自身が丈夫にな |類年ならずして一〇・三%の最低率にまで低下しまし 康増進に努めた結果、一九パーセントの最高死亡率は 大阪市此花區所九條と云へば、乳見死亡率の高い大阪 でも最も高い、赤ちやん地獄でありましたが、昭和五 を鑑康な子供とすることが出來ます。

(可謂的仗聲補三第)

結核は贅澤病で、金持でなければ療養が出来な

核は資

澤病

館内に殺菌、溶菌素を増加し、結核に對する群極抗動 剤ではなく、結核酸に最も必要なピタミンを綜合的に な療養者の最良の友となります。 の力を與へる生物薬で、薬價の季願と相まつて、與解 含有し、胃腸の組織を強めて食物の消化吸收を促し、 **作わかもとは、世間に多い高價な女で價値の少い笑意**

もハス、双眼 鏡まで賞 なんて,今年 七七日野賞 おうやらわか 君。白轉車 日なラか、さそ健 康さっにある 中のうしいたか いう云

か安産 の がわかもこの お補風が出 も知るま スマートな乾 H () 116 って、立派 は見えま のフトン地 せんみね 分なら

東京市芝公 千三錠百 日僅か敷 入錠 Ъ. 錢

があかえと本舗祭養と育見の會 据费用第一七〇〇番。明温之二战——七五番 一個六十

十十十十十八九八七六五 F 等等等 + 九 Λ t 六 Ī 四 四等 三等 等 等 等 等 等 等 * 等 慶中 電 大タオ 水 水 タオ 本」二級資約本一の中一部 シャープベン 石 菓 懷 電氣ァ 旅行用品セツ ズ 硯 絹 双 硝子コツブセ 鹼 箱セッ 中 扇 ッ 張 子 眼 洋 # 電 ク 五一旅 社種行計 曜 和 二十五 ŀ ŀ 傘 簡 鏡 打 器燈 五〇 100 一、八〇〇 五〇 <u>-</u>

地域のもとお買上の四、000 ハ〇 四五〇 四三五 四〇〇 三人〇 Ξ = 00 三五〇 川錢 な調展するからい が当るとはなるの用意 終た国 は雨上降り

天景品 お取次いたします。 內容

1000 1000

1000

等 等 等

等

電氣時計又は高眞機又は

車

寄の甕店へ御持窓下 必切は六月十五日です、 級で左記の大景品 されば、本舗へ確實にす、回答のハガキは最 を進星致します。

によつて回答應築された正解者に、地配答用紙が入つて居りますから、それ 、有の給本には 圓六十錢一 (いづれも四六判美麗色刷)の中 聞を呈上致し 日本躍 「家庭經濟 「仇討孝助漫畵繪本」 全國藥店 で、わかもと 計學中日 進繪本」 心得繪本」 個お買上げ毎に 野貨問題を記した

にお月十五

五日まで



行の「無端と長礼のターけ来る二

一四、五、六の三日川京場府民前

花柳龄美女史、杵座彌十郎所等一

展な興寒が特望されてゐる、なほ

讃歌』を軽美女史苦心の退付けで

全員が駆りぬくはずである

プログラム

△第一日目

横沿させるものとして、富日の孫 め、本券連甲の出演は京城組分を

△第二日目

五、舞踊素峠(頭) 北柳美寺、(京野津)本等(頃) 四美寺、(京野津) 本等(頃) 四美寺、(京野津) 本等(頃) 四三功・恭三(上)との

英、花柳菜喜、河村福口、來て

ハ、祭…… 北柳葵、北柳葵母、 調士郎(ピアノ作奏)大小愛子 見れば…… 北柳譯美(唄)杵局

彌十郎 (三絃) 杵磨勝宗治、

治、**杵屈勝**命治 治、**杵屈勝**命治

(本) 杵屋勝宗治、杵屋跡金治、大、長唄柳節の段(唄)杵屋爛十

(女響) 花柳|美 花柳|美、花柳美芸精、河村橋 花柳|美、花柳美芸精、河村橋

本 (中) 本 (中

朝鮮生命保險株式會社

から構造のでかる場合ない場合に於て毎日午後五時間地、同六時

助師の長限と、古典の財雅を新 一美 女史の舞踊と相

の別にまき込んである。公職三日 に百花研を競ぶ散場の歌樂帯組で

て早くも前部のファンを航行。あり、ピアノの大場壁子さんを始し、薬宮、花柳一美、花柳美三緒、香口、田田、「少男の金針と村」にですがる食。首似の高新寺里で「1、愛國行道県……花柳美、花柳

離から総武局でも之が徹底を 収扱はなかつた、今回特に同

の成北郷は十二日東京城縣につたので川魚料理に多年愉れ

九龍坪かり菱炭することにな

警官の暖い手で

八十副の推続を負はせたこと黄金 荷馬のトラ 郷空、北川の漢方自住を成場終す 駅のを帰嗣する 一郎のを活動する

三丁目を東大門銭元町行電車(選早前八時五十分ごろ言城並金町

りませらと各方面とも時の記念日 念を吹き込むと此に聞話道場を守 一萬二子百五十人に對し時間で

以上特別場から学典を扱いて聞る

途中馬が暴れ田し栗吉町大道でや

馬車類材音及(º:)は府内群松町曼 | 韓東三台も域茶級茶に破壊された

|京城にやつて来て八日午後四時ご||職をなし総督師に敗省した

午後三時から五時こで太平延茂壽。て離山陸軍病院内に水労餓五平原

ドレス衆人司に如注電 ・ 山崎 愛 國 堂 ・ 山崎 愛 國 堂 ・ 田崎 愛 國 堂 ・ 日本日 | 日本日 日本日 | 日本日

瓣買

でかまりれませる かまりれませる

醫

師

に異はれたし

が保険的まず、 性 名 在 田内日に多少評額あり京城府でを認

に正原道へ原作するとなれ江原道。 策螺が江一三八とあつたのを頼り 町一丁目方面に遙走したが、標示

生後一時半頃寅規維義明書九一(是)[建場に鎌られて真偽路汾の自一歩る江十月蒙康にたが、ほんとに]

郷垣正有。」の海梅町一大村供源社 り「朝鮮で死ぬ」と孫能を残して〇九金僧のさんで、「紫岩町一二世」(『山江今事本でラから東が知にな

てる。折構原城府街吉町百二十

店配酬太金額

石 炭 戦争望台石炭戦勝地 四大門二丁目六九番地東道大駅間 四大門二丁目六九番地東道大駅間

別案內

乐日条内

有學問。

大学 在二十大型社园 巴州巴市联大学社园里的 大学工艺名画名

期禪證也

野小原生』は調査の特集名或人と

茨則個の事派版と云ふ者が飛げ

治学・セロエ

静院

てあることが利用したので、

つと制止したが舟内上往十年時二 | 千奈縣印螺和成田町三六八匹井健 | 岡房代さん

家出男判る

生命保險に新判例

三年以内の過去に既往症あれば

三名を傷つく

萬餘名救は

昨年全鮮の被保護者調べ

兵域卸御聯盟會では治安回復の第

店員の鮮潮視察國 の他は恐粒で変化中の他は恐粒で変化中

回北支國際見本市が開聴される

れは成北線都入りの快ニュー **火土の企協に選ぶと云ふこ**

を腕くて五手尾像の鯡を北鮮三寸から二尺までの大物のみ

から、彼この大輪送の成果を見 一般太公認に釣らせ岐北部の 到音清原里町愛魚場に放たれ

年までに僅か二名の死難を撤出し、洛督のため庭の如くたらず九日正 植物し状化的活動を破けてみるが明近気が促進を 名のため八日夜來同境從蒸員及び一些死を組造はれてゐた遼蘇三十七

暴れトラツ

地方有法の無望に融じて先づ 試験的に十月、目の下一尺二

目の下二尺の大物ぞろひ

外軍七坑内のガス爆獲(南下) 「副崎電話」 顧問題特別和海洋茨

親不敢者が一昨年に比べて八百八

郷空肌となつたもので、これらの

長期抗戦下、國民就後の赤砂に温

學變國個ポスター

宮内で第十三回籍など開発、倉友 建の重関節を建設中であったが配 の無談會を開催事業報告をなし国々本月末竣工の選びとなった、愛

がの神事をなったが地でいる。

~皮膚※尿花柳病

~ 图學師士 波邊晋

京級資金町入口日本出命高

瓣

大 環大部大日本大東川
三宮外間は田町一九大
岡山市瓜田町一九大
岡山市瓜田町一九大
町山市瓜田町一九大

日間、京日は正午から三時間、東正午から大時中さで

一種に各部使用で度出されるが

たった

竣工迫つた愛國館

に高級の設備が縮されてある。た 土官事合所、清保など此交に情機

(ーを 作成、各方面へ 配布した、北支線観で傷つき病める自衣の身

動物愛護會の總督

分音では個工張二萬六千回の海峡のようと愛味明鮮本郎並に京城府

主を私理解後婦人の手によって慰

てある。さらにこれを近別に見る一ある

個か二死體撥出

云つた親不学の配言手触を残し、

咸北鮒の都入り

上つてみる。右の数字の内直提

人所有九百九十七要人外國人所內地人所有二百二十五数人朝鮮

徹底を明語るものとして各方面 網数は八萬五千七百四十七人の 般に上り、この数字は民衆鞭斃

人八萬八百二十人▲外國人五百▲小地人四千三百七十人▲朝鮮 この外に理解船で敷助を受け

敬虔な 航を応けて皇軍の武選長久を祈願 | ふ、又「詩」に一番様の深い厳重 | 飛客に時間を通報して鉄路の時間 レンを一部に火災するが管標管練すること、につた、例年ならサイ 戰時色濃い京城の諸行事 分間默禱



汽笛を吹奏、正備だ時間を知らせ

年の二国五科南から五科同一意に 七分から三分間跋吟時報を映へ全局では各機領車は年前不時中、正 を通告、龍山縣では午前で持二十

ると共に進行中の列車でけ単なが「寒傷局京城中央電話局でも加入者|| 竹留を吹奏、正確な時間を知らせ | 雌能壊臭に時計の正確を押する、

落つく地價

ーカーの暗訳で法の土地景場にプロ

段も落つきを見せ

数年本の京城府内 湖へ秋調とたり他

京城の土地景氣軟調

- カーの印刷で法 て来た、三月中の ・カーの印刷で法 不動産買買款況を せ、途には土地路 見のと

中で田間の子を出

舞踊と長唄のタ』

花柳壽美一行を迎っ

廿四、五、六日――府民館で開催

闘をあげて一齊に午削六時半、

こは二宮五十七婁の多數に上つて一年の二回鳳洛淞琳と、一分助の駅(計の獨節を行い夜に肥余放送を行いて、「動紀(間をあげて一齊に午前六時半、正)面組合と譲力して鮮顔前廣場で時

たものが一千二十五数。その内閣

保險金を貰へない

と主要して保政金支持を機箱し新でこの保留契約は無効だけ **技事四二九條の東大なる事質に** 法事四二九條の東大なる事質に

「加入常時の同年記墓の樹」との理由でから、「八文書記墓の理由にするのは、「一覧の理由にするのは、「一覧の理由にするのは、「一覧の理由にするのは、「一覧の理由になるのは、「一覧の理由にから、」との理由でから、」との理由でから、」との理由でから、」との理由でから、」との理由でから、」との理由でから、」との理由でから、」との理由でから、」との理由でから、「一覧の理由に対している。

命保臓に加入、翌年七月九日死亡 政会社に十五ヶ年押ひ五千川の生

したので、何人の俄樞過受人山北

初太郎は東京日本橋属横谷生命保

利判例を九日高原法院で下した明

見事空巢覘ひを取押へる

9

発達する所を奥の明で仕事をし 心臓位の期望人が洋服ズボンを盗 ……九日午後三時半頃京城

八日現在で上海地方のコレラ風音

た、一方原線バスで目下研究を終し電車機会。内地が方面のこれ等一堂)游州商工育主爾指水酒精工場「著らしく和常倫朗があるらしい。」り、十月付をもつて同様上海を近く一部に配頭を見ぐことになり、自下文通頭音大発に出事中の小松 一海・州・島 民主大・韓 【海州・韓】(一調へると曉と知明、無頭常智 | つたので、楊彦原でも厚生名と近く

窓武上から花柳美三橋、花柳美音、花柳一美、何村浦、花柳美】

ス自動車に就いても、豊富な石炭ー品任のはずで、ガソリン節約時代 つて意々選轉することになつたガーの質難に就いて十分顕音を遂げて

一般人を取抑へ南大門派田所に突き

は首七十一名に遊し、ます!

來た。さてこの泥構いくら住所姓

ガス自動車も性能試験OK

の他に就いて剛烈中であり、更に「られている」

近く一部に配車を見ることになっ

しもついたので、ガソリン切符版

にも他の手 柄ぢゃない、伊蘇

て(ピアノ伊孝)大場愛子二、泾県獨唱杵局領土郎花に宿り

何村澗

ととまれたのでは、 おい関歴書館付左記最寄り支社へ開会アレー 利・国際書館付左記最寄り支社へ開会アレーラ外務員三級利スノ有無二不拘意主歌問ニシテ書館同有為ノーナラ外務員三級利スノ 北鮮南鮮鮮鮮央 支炎支支支支支 社社和新聞出社

統後報明 二八貯蓄フ兼ネタル保険ガー撃両1、常社、朝鮮ニ本社ヲ置ク唯一ノ生命保険を社、関州ノ契約者(既帰料・取扱所、全鮮の精がなった。(年々増加ス)和企正は、禁証の経験が発いがた。(年々増加ス)のカノ契約者、全鮮の特殊が発いが治療、人民政・政治・全様の特別が、全様の共和ノテに嫌いが、全様の特別が、全様の対策があった。 墨爾得









































完成《本町二丁B

別莊地向土地分鼷

店員採用 上頭整理機構 中間 127 三頭野牛 東面 127 三頭野牛 東西 127 三河野牛 東西 127 三 12

内弦を辿め、酸是次第ドント

良難能が他にもある見込べで、

うることになった

肝

殿製

劑

MALI

市場の直接はカナー線電池 ・ 一点のでは、 ・ にいた。 ・ にいた。

e 5

Name of Street

日清生命京城支部

調査による昨年中醫経行政上かった泥解者が銀頭で一萬九千八十六一水街原々の水韻和災者が、一萬四、田人の七千四百五十四人だ。大部 ラ連も時局の黙髏を受け、一昨年一や引印者の不均敬から可受担にも「クとか々親兄弟の供籍にはたらね」になった人、」かし戦助権にかいつた大ト「子九百九十七人、第三番目が、叔「分がヶ陽報の者へ方は時代能験だ 北文を (2)

能感を押してみるが、本族文書談。過ぎて大トラとなって振頭にのび、たった甘いカツブル連予船の職役。れてある、第四番目に多いのが家、環神経験を組織制す日間の豫定で配を押してみるが、本族文書談。過ぎて大トラとなって振頭にのび、たった甘いカツブル連予船の職役。れてある、第四番目に多いのが家、環神経験を組織制す日間の豫定で一般を開始してこれが方針、車首の「釈真音と造別音とメートルを上げ、行く家に集事を示さ、心中を思ひ、親切と努力で無事に包もとに励ぎ、次、考定、大連等の北支、流州的一般を開始している。 ある、次に登集官の温い数距の手 よりも一千七百人ばかり街から勝 | 知らね土地に置きまられた迷見八 北文をハッキリと認識させること 七月上旬田陵店頭の建士達に新興 のを機會に府内二百の各商店より

音は保設金を貰る技術がないとの

訟となり原告側では

との理由で原告(加入者)上皆や

件です、お隣の鬼さん湾のお投 でで神經を失らしてゐたらこの事 たで神經を失らしてゐたらこの事 た

discussion. IV -



○抗辯して挙ひに高額法院に立て「関を謝頼すると係しからぬ」○ 自診療の額合上常

物音に大機関に来て見ると戦をふてるた何家の夫人千里さ (声)が

近く京城の街を走る

上海、吳州方面には目下コレラが コレラ防疫陣

经温姆





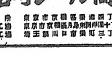
する女だてらにお恥かしい事でけて細へることが出来ましたが

破山土木用を放射するが

嗣陽りの奥さん二人が簡潔見事に | 流行し、厚集石調査によると六月 壁に「泥槨、泥槨」と鳴んたので唱くらずした海洋い男があるので唱

做。貨 進器車

車輪



年前六・〇〇 (東) ラデオ強婦 大・二五 ニュース 大・三〇 (東) 京都 七・〇一 (東) 京都 七・〇一 (東) 京都 七・〇一 (東) 京都 本総助直運師に限して 鉄次の施設と賃貸 就次の施設と賃貸 が表現る日 加秀田 1179日 大 の 1179日

10(重)朝の背壁(レコー

O) 部

跳ってあげたつて好い ちゃ

















療治新最





图今日园穴 田黒電



◎家庭用として一升壜あり

が設けを

夏純益参千圓

自愿提供和完合组

家ととと

天成行 经训一种多一属门一种定 髓 皮 医样 日 允山四日 新河六日

サーケスイア (a-y)2477 全 (a-y)2477 2 (a-y)247 2

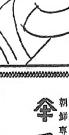
が門大郎目5 - 町景座的城市 社会機凍冷急國 所以自動: 1884

不可丁百合 麗里 坂 井

些 莭







發展 京城五九九五番 · 京城府黄金町二丁目

朝鮮汽船出帆廣告

十五三一

仁川七日 大連消日

C大國社

本月上

日城南部六日大連七日

九日、十五日、廿五日

+

就路 (4.44年) (4.44年)

四尼崎州部出民

、 に用五日飯南部六日 東京 (中国) に用一大 東京 (中国) に用一大 東京 (中国) に用一大 東京 (中国) に用一大 「に用一書周門拾城町、 「に用一書周門拾城町、 「に用一書周門拾城町、 「本田) 本語 (中国) 和語 (中国) 和語

自然原理自仁川古首

型行 型 电超过 医多山大日

百种原他有仁川岩百 ラ アゲテ下サイ

周



























